

## 活動報告

# 2012年 新潟県厚生連臨床工学技士会活動報告

糸魚川総合病院 ME室；臨床工学技士

いしだしゅんたろう  
石田俊太郎

新潟県厚生連臨床工学技士会は2012年12月末現在、会員数57名が11施設で代謝・循環・呼吸療法に関する生命維持装置の設定操作・保守管理業務を行っています。

まだまだ少数職種ながら当技士会は春秋期研修会を定期に開催し、また会員各位が日本透析医学会学術集会や新潟県透析懇話会、ペースメーカー研究会、呼吸器学会等々の代謝・循環・呼吸分野の各学会へ参加して学術発表を行っています。更に各施設や地域での関連分野における講師・上級認定資格の取得を通じて、臨床工学技士としての知識・技術向上に努めております。各方面からの末永い御指導を何卒宜しく御願ひ申し上げます。

### 2012年 活動実績（会員の発表を含む）

- 2月12日 新潟県臨床工学技士会主催：第1回急性血液浄化研究会（新潟市ユニゾンプラザ）  
座長：厚生連糸魚川総合病院 臨床工学技士 石田俊太郎  
教育講演 急性血液浄化を上手に回そう  
講師：東京女子医大臨床工学技士 相馬 泉 先生
- 2月26日 第3回 循環器セミナー（厚生連新潟医療センター）  
心臓・循環系の各種検査の基礎。経皮的冠動脈拡張術の基礎とデバイス  
講師：厚生連新潟医療センター 循環器内科 杉浦 広隆 先生  
厚生連佐渡総合病院 循環器内科 真木山八城 先生  
厚生連村上総合病院 臨床工学技士 外山 伸行 先生
- 4月28日 第62回 日本農村医学会（厚生連長岡中央総合病院）  
石田俊太郎 他：急性血液浄化を想定した Modality の差異と血中濃度・浄化効率を考える
- 5月27日 第1回 新潟県臨床工学技士会学術集会（NSG 学生総合プラザ）  
ワークショップ「臨床工学技士業務を考える」  
植田 真弓 他：当院における臨床工学技士業務の拡大と現在  
大塚 慎一 他：補助循環装置（PCPS,IABP）を装着した患者の搬送経路
- 6月22、23、24日 第57回 日本透析医学会学術集会・総会（京王プラザホテル札幌）  
阿部 泰三 他：二次性副甲状腺機能亢進症に対するシナカルセットの介入時期の検討  
阿部 泰三 他：大規模災害に備えた透析パスポートの作成とその運用
- 7月8日 新潟県厚生連臨床工学技士会春秋期研修会・総会（長岡中央総合病院講堂）  
新潟県厚生連本部挨拶：土屋 人事部長  
2011年度総会（活動報告会計・監査報告予算役員選出 その他）  
ランチョンセミナー 座長：厚生連三条総合病院 加藤 和行  
持続型 ESA 製剤ネスブ注射液と治療アルゴリズムの実例  
講師：(株)協和発酵キリン 新潟腎専任営業所 坂田 健太郎 先生  
透析医療におけるチーム医療とクリニカルパスについて  
講師：(株)協和発酵キリン 新潟腎専任営業所 吉永 雅士 先生  
教育講演 座長：厚生連三条総合病院 中村 雄一  
透析液水質確保加算における対応機種の特徴及び展示  
講師：(株)ジェイ・エム・エス (株)東レ・メデエカル  
(株)日機装 (株)ニプロ
- 9月30日 第3回 甲信越臨床工学技士会学術大会 in Nagano（長野県松本文化会館国際会議室）  
平田 充博 他：臨床工学技士教育の取り組み～循環器領域を中心に

●11月11日

新潟県厚生連臨床工学技士会秋季研修会（三条総合病院講堂）  
教育講演 座長 けいなん総合病院 齊藤 厚志  
シャント PTA とシャント管理  
講師：(株)東レ・メディカル 透析製品事業部門新潟エリア担当  
松井 信彦 先生  
ランチョンセミナー 座長：水原郷病院 西脇 直樹  
講師：(株)キッセイ薬品工業 関越支店学術グループ  
池田 信彦 先生  
エポエチンアルファ BS 注 JCR の臨床報告から  
教育講演 座長 けいなん総合病院 齊藤 厚志  
HDF フィルターの性能と特性  
講師：(株)東レ・メディカル (株)ニプロ  
(株)旭化成メディカル

●雑誌投稿

新潟県厚生連医誌  
植田 真弓 他：AFHD から AFBF への変更が有効であった 1 症例  
石田俊太郎 他：急性血液浄化における Modality の差違と血中濃度に関する数学的解析

(2012/12/04受付)

平成24年7月11日

新潟県厚生農業協同組合連合会  
事業担当常務様

厚生連臨床工学技士会  
会長 諸 我 浩

2012年 厚生連臨床工学技士会 春期研修会 報告

拝啓

時下益々御健勝のこととお喜び申し上げます。平素は当技士会の運営に関して格別のお引き立てをいただき、厚く御礼申し上げます。さて、7月8日 厚生連長岡中央総合病院にて開催させていただきました当会 春期研修会が無事終了しました事を報告致します。今後とも変わらぬ御支援を何卒宜しく御願ひ申し上げます。

敬具

記

2012年 厚生連臨床工学技士会 春期研修会

日時 2012年7月8日 10時より15時まで

場所 厚生連長岡中央総合病院 講堂 参加数 名

内容 1. 会長挨拶 2. 厚生連本部挨拶 3. 2011年度総会

4. 教育講演 1

「透析医療におけるチーム医療とクリニカルパスについて」

講師 協和発酵キリン株式会社 新潟腎専任営業所 所長 吉永 雅士様

「持続型 ESA 製剤ネスブ注射薬と治療アルゴリズムの実例」

講師 協和発酵キリン株式会社 新潟腎専任営業所 坂田健太郎様

5. 教育講演 2

「透析液水質確保加算2における対応機種の特徴と展示」

講師 株式会社ジェイエムエス 東レメディカル株式会社

日機装株式会社 ニプロ株式会社

本部講演では土屋人事部長様より現在の収支状況と医療情勢等について、また教育研修への取り組みや臨床工学技士の主任配置について御説明頂きました。教育研修については来年度から部門別研修会を内部研修に追加して会員のスキルアップを図っていく事が総会で承認されました。

教育講演1では透析医療における急性期及び慢性期の治療にクリニカルパスを活用することで貧血やRODなどの治療を標準化し医療の質を確保することの重要性を三条総合病院の実際のクリニカルパスなども参考に学習しました。

教育講演2では診療報酬改定で新たに算定が可能となった「透析液水質確保加算2」について、算定条件となっているON-LINE HDF装置の各社によるプレゼンテーションと実機によるデモンストレーションが行われ今後の採用機種選定に大変参考となりました。

最後に、この春期研修会が有意義な場となりましたことを、会員一同を代表致しまして、感謝申し上げます。

以上